



音楽運動



日本音楽協会 〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町3丁目10-15 富士ビル505号室 発行人 松本敏之
TEL03-3221-1821 FAX 03-6369-3057 URL <http://nichionkyou.org> Email nichion@yomogi.or.jp

日音協第60回定期総会 沖縄音楽祭を成功させよう!!



久しぶりの集合写真



松本会長 大会議長の狭石さん 金田事務局長

日音協は11月25日、東京都豊島区での対面とズーム・ミーティングによるリモートとを併用して第60回定期総会を開催しました。幹事・監査の出席も含めれば14すべての支部から23人（うち1人傍聴）が出席しました。

冒頭、日音協ソング2023推薦曲の「戦争の誘惑に乗ってはいけない」「長崎平和祈念像の歌」「されど灯し火は消えず」を作者や幹事会メンバーが演奏して紹介しました。

議長に狭石啓子さん（東京都支部）を選出して、松本会長が、「この1年間で新井宏政さん（北海道）、遠藤久夫さん（宮城県）、笠木博逸さん（北海道）が亡くなった。先輩た

ちの遺志を引き継いで運動に取り組みたい。来年9月に沖縄で第55回はたらくものの音楽祭を開催することとしてきたが、連合沖縄会長に県実行委員長にご就任いただくことが困難な状況になっている。沖縄音楽祭の成功に向けてご議論をお願いしたい」とあいさつしました。

活動経過報告、決算報告、監査報告を受け、全支部から発言がありました。紙幅の都合で省略します。報告事項は承認されました。

議案第1号日音協2024年度活動方針（案）と議案第2号日音協2024年度諸会計算算（案）の提案を受け、沖縄県支部から第55回はたらくものの音楽祭を成功させる決意が話されたほか、「カンパ協力者と会員との整理が必要では」「労働組合との連携だけでなく市民運動との連携を強めてはどうか」「カンパという気持ちの人も立派な会員として協力いただいている」「日音協ソング推薦曲に表彰なり金一封があった方がいい」「支部のCD作成に販売協力など願う」「地方連合に音楽祭に何らかのご協力いただけるように引き続き努力を」「連合に協力を求めつつしたたかに俺たちの運動を」「沖縄の音楽祭を

成功させようという意欲に協力したい」「この時期、沖縄に集まることが大切。やりましようということ工夫を」「普段の労組とのつながりが大切」などの発言がありました。答弁を踏まえ、両議案は提案通り決定しました。

最後に、松本敏之会長（茨城県支部）、佐藤康弘副会長（青森県支部）、坂口美日副会長（東京都支部）、金田光弘事務局長（茨城県支部）など役員を選出して、定期総会を終えました。

総会終了後、引き続き第55回はたらくものの音楽祭第1回中央実行委員会を開催し、音楽祭企画書などについて議論しました。（松本敏之）



「南風(ふえーぬかじ)」①



沖縄から
日本へ世界へ

1987年
第1回嘉手納基地
包囲行動の年に
沖音協誕生

はいさい！沖縄県支部の平良昌史です。来年9月21、22日の日程で「はたらくものの音楽祭 in 沖縄」が開催されることが決まり、私も実行委員会事務局次長に就任しました。全国の仲間力を結集し、反戦平和の思いを広げていきたいと思ひます。皆様のお力添えをユタサルグトゥーにげーさびら。(よろしくお願ひします)

日音協沖縄県支部(沖音協)は、沖縄県労協センター(平和運動センターの前身)と日音協 印牧事務局長(当時)の指導のもと1987年の4月に、沖縄で初めて行われた、第1回嘉手納基地包囲行動に合わせて結成されました。包囲行動テーマソング「やさしい心を武器にして」のレコードは、沖音協が当時吹き込んだものです。

保守県政のもとで沖縄の基地負担軽減の新しい運動を模索していた県労協センターは、ドイツ米軍基地を市民団体が「人間のくさり」で包囲したことを参考に、沖縄でも「カデナ基地を人間の輪で包囲する」大行動をやった年でした。私も新規採用で、まだ組合に入っていませんでしたが、6月21日の大雨の中、参加者2万4000人の一人として、ずぶ濡れになりながら、両手をつないで基地の外周17.4キロを完全に包囲する輪の中に入り、人間の鎖で、復帰後も変わることはない基地の重圧に対する怒りを示しました。

豚料理に昆布が合うことから昆布の消費量は沖縄が日本一です。そこで、資金造成のため北海道から昆布を取り寄せ組合員に買ってもらふこととなりました。しかし、届いた昆布はだし昆布で、どうして食べたらいいか分からなくて、当時の婦人部が料理教室を開催したとのエピソードもありました。沖縄の歴史・文化は、本土とは違う面が多々あり、このコラムで、紹介していけたらと思ひます。沖縄音楽祭成功に向け、まじゅんちばらなやーさい。(ともに頑張りましょう)

(沖音協・平良昌史)

日音協セミナー2024の開催(要旨)

1 と き 2024年2月10日(土) 14時~12日
(月・振替休日) 12時

2 ところ 藤野芸術の家

神奈川県相模原市緑区牧野 4819

<https://fujino-art.jp/hall/>

東京駅から中央線快速高尾駅乗り換え80分で藤野駅下車

神奈川中央交通バスで6分藤野芸術の家バス停下車

バスは1~2時間に1本なので、車による送迎を計画します
宿泊も藤野芸術の家です。

3 セミナー内容

(1)「うた&演奏コース」について

ボイストレーニングを基本に発声や表現の仕方をトレーナーの小笠原もずく氏から指導していただきます。これまでのボイストレーニングと少々ことなる点は、参加者でユニット(コーラスやバンド・ギター演奏などなど)を組んで、演奏(ボーカル)の表現づくりなどについても指導をいただく予定だということです。

① うた&演奏コースの留意点(省略)

② 演奏形態例など

③ ステージ演奏について(省略)

④ ボイストレーナー 小笠原もずくさんの紹介(省略)

(2)「ステージスタッフコース」について

機材の搬入から組み立て、ステージ転換作業・PAのオペレーション・トラブル対応・解体から撤収までの一連の作業を経験します。とりわけステージの転換作業とトラブル対応やハウリングチェックや音質調整・音響における会場の特性の掴み方などなどを学びます。

また、それぞれの支部やユニットが街頭や野外集会での演奏活動をする際にどのような音響機材が必要かなど実践的な話もしていただきます。

PAに関心があるけど活動のきっかけを掴めないでいる方大歓迎です。是非とも、日音協のステージを支えるメンバーになってください。

具体的には、作業と指導を一緒にしたワークショップ的な活動になります。機材の接続の順序や接続の仕方などは専門的ですが、ここが違っていれば音がでませんから大事なところですよ。

また、ステージで演奏している音を聞きやすい音質で会場に流すことは音響操作の要ですから、各ユニットのリハーサルの音を聞きながら調整方法を指導していただきます。

① ステージスタッフコースの留意点(省略)

② 講師 日下昇さんの紹介(省略)

(3) 共通講座 『ステージでの演奏を高めるための目からウロコのお話し』 講師 日下昇氏(詳細省略)

4 参加費と交通費一部負担など

(1) 参加費 お一人21,000円(2泊3日、朝食夕食、懇親会費含み、11日昼食を含まない)のご負担をお願いいたします。全日程参加できない方の参加費は、1泊2日で12,500円、日帰り(夕食なし)は4,000円とします。

(2) 交通費の援助について

参加する日音協会員は各支部一人につき、往復交通費のうち13,000円を越える分を日音協が負担します。ただし、航空機利用の場合は、21日前予約料金で計算させていただきます。

5 参加申し込み書及び具体的なタイムスケジュールは、12月上旬発文予定の『日音協セミナー2024の開催について(その2)』にて発文する予定です。

第34回はたらくもの音楽祭 in Akita

2023.11.18(Sat) 13:30 Start
秋田市にぎわい交流館 AU 多目的ホール



働けど はたらけど 我が暮らし・・・
その思い歌に込めて

2023 Worker's Music Festival in Akita
2023 働くものの音楽祭 in Akita 実行委員会

Open

Opening Performance

♪ 移動音楽広場のテーマ 詞&曲 全電通旭川支部音楽協

阿部尚夫(弾き語り)

♪ マイナ保険証はいらない 詞&曲 阿部尚夫

♪ 政治に目を向けよう 詞&曲 阿部尚夫

♪ 百姓たち 詞 阿部尚夫 原曲 アメリカ民謡

熊谷 A & 下総 K (Twin Vocal) with Accordion & Cello

♪ 国境を越えて B 詞 杉 五郎 曲 窪田 聡

佐藤正和 (Solo)

♪ 芭蕉布 詞 吉川安和 曲 昔久原恒男

♪ うた 詞 佐藤 信 曲 林光

実行委員会企画

★ 働けど はたらけど 我が暮らし・・・★

♪ 安全な未来を 詞 下総 大 曲 後藤雅裕

♪ 戦争の誘惑に乗ってはいけない 詞&曲 後藤雅裕

♪ 春風と青空 詞 熊谷 均 曲 後藤雅裕

～ Break Time ～

笠木博逸さん追悼演奏 (Sing Out)

♪ On the road 詞&曲 笠木博逸

♪ たとえつらくとも 詞 笠木博逸 曲 まとばよしお/笠木博逸

♪ 私たちは許さない 詞&曲 笠木博逸

大嶋忠男 (Solo)

♪ 泣く子はいねが 詩&曲 大嶋忠男

♪ 春・夏・秋・冬 詩 石山健司 曲 大嶋忠男

RIVER SIDE GRASS (Band Performances)

♪ 線引きやっこ 詞&曲 桑野 功

♪ 愛と花と自由を 詞&曲 後藤雅裕

♪ だから言いたいことを言おうよ 詞&曲 後藤雅裕

桜庭智英(弾き語り)

♪ 新しい出会いのために 詞 津谷さつき 曲 桜庭智英

♪ ありがとう 詞 津谷さつき 曲 桜庭智英

♪ 仲間がいる 詞 津谷さつき 曲 桜庭智英

実行委員会あいさつ

実行委員長 村岡厚史

Ending Performance

♪ インターナショナル 詞 ボディエ 曲 ドジェーテル

訳詞 佐々木孝丸 佐野 碩

4年ぶりの県支部音楽祭

11月18日、秋田市のにぎわい交流館 AU 多目的ホールにて第34回はたらくものの音楽祭 in Akita が開催された。

2019年に全国祭典が秋田で開催されて以来、新型コロナウイルスのため開催出来ずにいたが、4年ぶりに開催にこぎつけることが出来た。

東北北ブロック会館からわずか2ヶ月での開催であり、日程も二転三転し、その都度会場も変わるという状況のなか、なんとか出演者を集め、実行委員会企画をまとめて三回集まって練習しての発表。ほとんどミラクル！

音響はリバーサイドグラスの藤原さんが自前の機材を持ち込み、設営から操作から音源作りからなんでも



二転三転して決まった会場



みんなのガンバリで開催



阿部さん



久々のステージ 桜庭さん

やっちゃうというマルチタスクぶりを発揮。機材搬入、設営、舞台、撤収は加盟労組から幹事2名がスタッフとしてお手伝い。司会はこの人しかいないであろう佐渡恒幸さん(林野)のアドリブばりばり利かせての名調子で、祭典を盛り上げていただいた。

発表内容はプログラムをご覧ください。鷹巣びつきから桜庭さんが代表してつとりする歌声を聞かせてくれ、「桜庭さん、復活ー！」と喜んで人がいたとかいないとか。

今回の祭典では「笠木博逸さん追悼演奏」を行い、みんなで秋田と縁が深かった笠木さんに、これからも歌い続けるよと決意し、故人を偲んだ。

動画を録画しているので、そのうち日音協HPからご覧いただけると思います。(下総大)

ほうせん花

詩=キム・ヒョンジク 訳=窪田聡 曲=ホン・ランパ

11月、窪田聡さんからお手紙をいただきました。古い資料を整理していたら作者名の誤りを見つけたそうです。歌集『うたのひろばⅡ』に収録している「ほうせん花」の作曲者名ということでした。

ネットで調べたところ、作詞者名も違っていたので、「ハングル語の読み方の違いだと思いますが」と窪田さんに確認したところ、「対応はお任せします」とのことでした。

訳者によっていろいろ「鳳仙花」の歌詞は違っていますが、「ほうせん花」の作者を訂正します。(詩=キム・ヒョンジュン 訳=窪田聡 曲=ホン・ナンパ) ちなみに、金亨俊(キム・ヒョンジュン)、洪蘭坡(ホン・ナンパ)との表記です。(佐藤)



洪蘭坡 (ホン・ナンパ)

1897~1941。李朝末期、今の韓国京畿道水原に生まれる。

多感な少年期を彼は、祖国が日本の植民地に転落していくさまを目の当たりにしながら過ごした。

キリスト教系の中央基青中学を経て朝鮮正楽伝習所に進んだ彼は、ヴァイオリンを習いはじめ、1918年には東京上野音楽学校(現在の東京芸大)に留学する。翌年3・1独立運動がこころやすぐ故国に帰り万歳を叫ぶのだが、それがもとで退学を余儀なくされる。

1920年、失意のなかで彼の代表作でもある「鳳仙花」が作曲される。その後「鳳仙花」は、当局によってうたうことすら禁じられたにもかかわらず、民衆のなかであたかも国歌のように厳粛にうたわれ続けた。...

『鳳仙花(ボンソナ) 洪蘭坡の歌と生涯』

1987年公演チラシより

想いを込めて行動を



私鉄全国音楽集団総会

10月21日に私鉄全国音楽集団第15回定期総会を開催しました。冒頭、松浦代表(東武労組)は「私たちは私鉄のなかで闘いのうたを響かせる役割があり、青年女性とともにうたごえをつくりあげ、継承・発展させることが一番の任務で、運動の継承・発展していくために若い仲間を迎え入れていくことが必要だ。そこで3つ柱を考えた。ひとつは心のかよい合う運動をということで、仲間の心を思いやりながら運動をしていく必要がある。ふたつめは組織的な行動で、集団として運営委員会で議論して決めたことは組織として守ること。3つめは楽しく運動しようということで音楽サークルとして魅力ある組織になり、青年女性にも伝わることで集団に加わってくれるのではないか。そのためにも財産であるうたごえをリードしていくことが必要だ。この15年間は集団で続けてきたし、みなさんの行動で盛りあげてきた。今後も一生懸命やっていく決意である」とし、来賓の私鉄総連小松局長からは私鉄バスのうたごえや決起集会などへの集団への取り組みに感謝するとともに、今後もよろしくお願ひしたいとあいさつしました。

議事では「青年女性の行事に集団がどうかかわっていくのか」「次の伴奏者をつくるのが課題である、呼ばれればこちらからいく」「集団として統一した腕章を作成することはできないか」などの質問や意見と、「想いをこめた『うた』の力で音楽集団活動を日常化していき、新しい仲間の拡大に努めていく」「青女協や私鉄産別運動がひとつになって前進できる集団活動をすすめていく」ことを柱とした活動方針、および決算・予算と役員体制(根本代表、石井・瀬崎・新山副代表、下山田事務局長・会計兼務、宮田事務局次長)を決め、根本代表の団結がんばろうで総会を終了し、「地底のうた」の練習を瀬崎さんの指揮のもとおこないました。(根本賢治)

千葉で関東ブロック合宿 26名が参加

2023日音協関東ブロック合宿を10月28日から29日、千葉県習志野市「京成労働会館ホール」にて開催し、26人が参加しました。

久しぶりの千葉開催と事務局体制の薄さが露呈し、準備が間に合わずに開始前の千葉県支部によるシングアウトができず、開会は松本政夫千葉県支部長と松本敏之日音協会長挨拶ののち、日程確認もそこそこに全体講座Ⅰに入りました。

内容は今年の2月に日音協セミナーでもお世話になった講師の小笠原もずくさんから『ボイストレーニング・発声の基礎』で、体操やストレッチ等・体づくりのレッスンとして発声に必要な個所の体幹や、血行を良くしたりほぐしておくべきポイントを教わりました。

基礎発声のレッスンでは腹式呼吸や声帯の動かし方・使い方、口の開き方や歌うときの姿勢などについて、また普段の発声練習で取り入れておくといふ二文字をリズムよく発することで滑舌の訓練にもなりそうです。声のポジションについてや裏声・普段使わない声の出し方など、今後意識しながら練習をすることでレベルアップが図れるのではないかと感じました。

小笠原もずくさんは来年2月10日～12日の日音協セミナーの講師も務めていただける予定なので、ボイストレーニングを受けてみたい方はぜひ参加を。夕方からはミニコンサートを開催し、①キヨミ、チヨミ、キヨミ、②合唱団ミール、③市川さん、④ういみんと松本さん、⑤岩野さん、⑥森さん、⑦小笠原さん、⑧高橋さん、⑨瓦井さん、⑩狭石さん、⑪茨城県支部の順で近況報告なども含めて思いの込められたうたが発表されました。

2日目は茨城県支部のシングアウトにはじまり、全体講座Ⅱとして「メッセージ」を瓦井さん、「武器を捨てて」を狭石さんと森さん、「ジュゴンが住む海」を瓦井さんから歌唱指導をしていただき、参加者がそれぞれのパートを歌いながらうたのレパートリーを増やそうと練習しました。

感想会ではボイストレーニングが良かったことや、たくさん歌い新しいうたも覚えられた、久しぶりにみなさんの顔をみて安心したなどおおむね好評でしたが、初めて開催した場所なども含めて冒頭からの準備不足などについては千葉県支部で総括して、来年の合宿開催にむけて活かしていきたいと思います。

最後に東京都支部によるシングアウトで合宿は終了となりました。PAを担当していただきました日下さんをはじめ、参加していただきました皆さんありがとうございました。

(根本賢治)



講師の小笠原もずくさん（中央）と参加者の集合写真です



東京都支部による「武器を捨てて」の歌唱指導



茨城県支部によるミニコンサート



発表の場として臨んだ おだかすやさん

日音協
シング
推薦
曲

水道橋だより

▼1面に平良さんのコラムを掲載しました。沖縄音楽祭まで毎月掲載の予定です(次号からは4面に掲載)。よろしくお願いします。



▲編集力不足で、こちらにカテナ行動の写真を紹介します。(佐藤)
▼第60回日音協総会では、開始後、2023日音協SONG推薦曲を紹介しました。演奏する幹事会メンバー。5面に、おださん。(佐藤)



▼来年9月の沖縄往復航空券または航空券+宿泊は、主な航空会社はもうインターネット予約を受け付けています。便を変更できない難点がありますが、早く予約した方が断然安く乗れますよ。予約の仕方ご相談に乘ります。(松本)

どん行

(173)

飯島貞親

争でも始まる時は「自衛の戦い」と権力者は言う。無論、終わってからも同じことを言う。

歌の力が物語るもの124

菜葉坂うた行動 10/27 (491回) 報告 Rico

【参加者】

スーさん、かおるさん、守屋さん、イサさん、鈴木さん、達哉、森

計7名

反原発うたいたいの横断幕をフェンスに張り渡して準備。簡易ながら「原発NO! 基地NO! 戦争NO! 菜葉坂うた行動18時半〜19時半」と書き込んだ看板も作って、見えるところに装着した。

早くも警察官が来て「何時まで?」「19時半です」と、いつものやりとり。フェンスにもものを貼るなど言われるかと思ったら、それはなかった。

なんだかフレンドリーな警察官で、「以前は記者会館のへんでやってませんでしたか?」

と尋ねてくる。「それは反原発ですね。私たちはその行動に参加して、2012年からずっとここで歌っています。」等、和やかに世間話。お仕事ではない日にぜひ歌いに来てください。と声をかけておいた。

『あたりまえの地球』から始める。イサさんが踊るように鈴を鳴らした。そしてこのころ歌い続けている『D.O! 魔炉』。作っていた歌詞カードと、くり返すところが違っていたことがわかり精査する。何回も歌ってみて、菜葉坂パーションを決めた。今日は通行人が多い。知っているメロディだから耳を向けて

くれるといいな。そして、汚染水のことを訴えたくて『水に流すな』を続けた。

イスラエルのガザへの攻撃を案じ『大きな橋』を歌った時、守屋さんがかおるさんに手話を尋ねた。守屋さんたちが続けている辺野古新基地反対行動で、かおるさんは踊るように手話を入れているのだという。一曲、見せてもらった。パラパラのようなステップで、手話が着くと歌が楽しくなった。『大きな橋』も手話を考えてきてくれるそうだった。『戦争に力貸さない』も短くて何度も繰り返していい。これも手話をリクエストした。

『大きな橋』のときに、外国人らしき人たちが数人通っていたので『声よ集まれ歌となれ』を歌った。途中ネズミが歩道の植え込みの間をもすくい速さで駆け抜けていった。「ネズミも私たちのうたを聴きに来た」と鈴木さんが言う。

沖縄を歌う。代執行の裁判が始まる。『声よ集まれ』は沖縄にも通じる。「どれだけ叫べばいいのだろう。」「聞こえないふりに傷ついて。」「思わせているのはヤマトだ。」「ふるさと沖縄」「ジュゴン」のすむ海。『沖縄に基地はNO! NO! NO!』『私たちは許さない』と続けた。遠くからでも応援したい。

最後は『メッセージ』。背後から横断幕が支えてくれていた。これをみんなで集まって、チクチク手縫いしたことも思い出した。今はそれぞれ違う場所で忙しく過ごしている仲間たちの手も、この横断幕の中にある。旗つてすごいな、元気になるなあ。

▼ウクライナ戦争が終わらないうちにガザ攻撃が始まった。日々大惨事が続き状況は深刻さを増している▼この出来事に対する人はいないだろうか、防衛となると対応策が違ってくる。従来、日本が戦争するとしたら攻められて防衛する時だけだった。が、集団的自衛権の行使が可能となった今、米国に要請されれば世界のどこにでも自衛隊を送ることが出来る。その時の政府の理屈は「自衛のための戦い」「国民を守るための戦争」だ

▼ナチスの将校は、平和主義者に対し「愛国心が欠けている」と非難すれば、意のままに国民を戦争に向かわせることができたと言及している。79年前の日本社会がまさにそうだった▼戦争は自然災害ではないのでその殺人現場には虐殺集団がいる。彼らに指令を出している人物がいる▼東京裁判で東条英機の弁護士は「日本はあらかじめ米英に対し戦争を計画し準備したのではない。これらの国々の挑発に原因し我が国としては自存自衛のためやむを得ず開始したものと論陣を張った▼どんな戦争でも始まる時は「自衛の戦い」と権力者は言う。無論、終わってからも同じことを言う。